「農薬適正使用支援システム」（指導参考事項）

北海道農業研究センター総合研究部
執筆担当者　伊藤　淳士

農薬使用状況の適否支援をインターネット上でおこなうシステムを開発した。財団法人日本植物防疫協会JPP-NETの提供する農薬データベースを用いることで、各種農薬、作物に対する情報が利用できる。また、本システムは栽培履歴管理システム等の他のアプリケーションと容易に連携することができる。

１　試験目的

農業生産のトレーサビリティーシステムの普及に伴って、作物のコンプライアンス生産が強く求められるようになってきた。それらの管理業務が農業関係者の大きな負担となっている。特に、農薬においては各種の基準を遵守した使用とその履歴管理をおこなわなければならない。しかし、農薬の使用基準は複雑であり、作物ごとの基準にあわせて検査することは容易ではない。

これらの業務を軽減するために、インターネット等のIT技術を活用して農薬使用状況の適否判断を支援するシステムを開発する。

２　試験方法

(1) 作物栽培における農薬使用履歴をインターネット上で入力させ、その使用適否の判断を支援するシステムを構築する。
(2) 農薬のデータには、財団法人日本植物防疫協会JPP-NETが提供する農薬データベースを用いる。
(3) 農薬使用履歴の入力には、作物名を表す作物コードと農薬の登録番号を用いる。

３　試験成績

(1) インターネットを用いて、農薬使用状況の適否判断の支援と農薬情報の検索、閲覧ができるシステムを開発した。システムは、Perl言語で記述されたCGIプログラム群とMySQLによる農薬データベースが連携して動作する（図１）。
(2) システムは、過去に失効した農薬も含めて登録のある全農薬が対象になっている。平成１６年１２月１日現在、21,300件の農薬が登録されている。
(3) システムは、登録のあるすべての作物が対象になっている。平成１６年１２月１日現在、402作目（細分類）が登録されている。
(4) 農薬データベースは、随時更新がおこなわれるため、常に最新の情報に基づいた適否の情報を知ることができる。
(5) 農薬データベースの管理、農薬適正診断システムの利用は、すべてウェブブラウザ上で操作することができる（図２）。
(6) システムは、栽培履歴管理システムなどのアプリケーションと容易に連携できる。

図１：システム構成

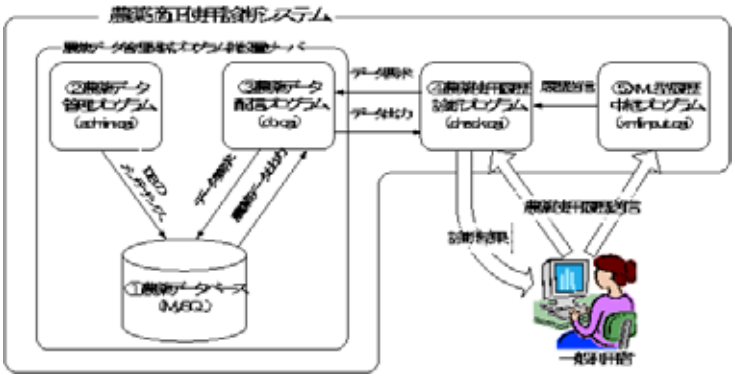

図２：システム利用画面

農薬適正使用診断システム - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

農薬適正使用診断システム

農薬適正診断システムについて(サイトポリシー)

作物コード:01010101 **作物名:**移植水稲(中分類:水稲 大分類:稲)

- 「移植水稲」「水稲」「稲」に対する登録内容を表示しています。
- 農薬ごとの詳細情報は、農薬名または登録番号をクリックすることで表示できます。

農薬情報

	登録番号	農薬名称	用途	会社名	登録	有効成分
1	18232	ブラシントレボン水和剤	殺虫殺菌剤	住化武田農薬株式会社	有効	エトフェンプロックス フェリムゾン フサライド
2	17913	ホクコーカスラブスミトレボン粉剤DL	殺虫殺菌剤	北興化学工業株式会社	有効	エトフェンプロックス MEP カスガマイシン フサライド
3	19622	カスラブサイドDF	殺菌剤	北興化学工業株式会社	有効	カスガマイシン フサライド
4	12003	ホクコーカスラブサイド水和剤	殺菌剤	北興化学工業株式会社	有効	カスガマイシン フサライド
5	16220	ラブバダンパリダB粉剤DL	殺虫殺菌剤	住化武田農薬株式会社	有効	カルタップ BPMC パリダマイシン フサライド

農薬別使用回数累計

	登録番号	農薬名称	制限詳細	適用地帯	回数制限	実使用回数
1	18232	ブラシントレボン水和剤	収穫30日前まで/2回以内	-	2	1
2	17913	ホクコーカスラブスミトレボン粉剤DL	収穫21日前まで/3回以内(但し、出穂前は1回)	-	3	1
3	19622	カスラブサイドDF	収穫21日前まで/5回以内(但し、穂ばらみ期以降は4回以内)	-	5	1
4	12003	ホクコーカスラブサイド水和剤	収穫21日前まで/5回以内(但し、穂ばらみ期以降は4回以内)	-	5	1
5	16220	ラブバダンパリダB粉剤DL	収穫21日前まで/5回以内(但し、穂ばらみ期以降は4回以内)	-	5	1

成分別使用回数累計

	成分名	回数制限	実使用回数
1	フサライド	穂ばらみ期以降は4回以内	5
2	カスガマイシン	5回以内	3
3	フェリムゾン	2回以内	1
4	パリダマイシン	-	1
5	MEP	4回以内(但し、本田期は3回以内)	1
6	カルタップ	6回以内	1
7	エトフェンプロックス	3回以内	2
8	BPMC	5回以内	1

使用制限回数を超えた成分があります。

農薬登録情報は、社団法人日本植物防疫協会JPP-NETのデータを使用しています。(データ更新日:2004/11/20)

農薬適正使用診断システム(ver 2.0.1)
Copyright © 北海道農業研究センター 総合研究部 情報解析研究室 All right reserved.

インターネット

4　試験結果及び考察

(1) システムを運用する際は、JA等の機関単位の管理者の責任のもとにユーザ管理をおこない、ユーザによるシステム利用は農薬使用前を原則とする。

(2) 本システムは、「農薬使用適正診断システム」としてプログラム登録されている（独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構知的財産データベースK-01）。利用に当たっては、担当者に連絡のこと。

5　普及指導上の注意事項

(3) 現場のニーズに合わせ、収穫日、濃度・倍率、近接散布および混用適否等の診断項目等の設計。

(4) 「YES！clean」などの独自基準に対応した診断をおこなうためのフィルタ等の設計。